

平成 24 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	歴史	担当教員	伊藤隆博 (非常勤)			
学年学科	1 年 E・D 学科	通年	必修	2 単位		
学習・教育目標	( A - 1 ) 1 0 0 %					
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 1 年生の歴史は世界史的分野の内容を学習する。授業では、とくに 1 5 世紀以降の近・現代史に焦点を合わせて考察を進める。いわゆる各国史の総合ではなく、さまざまな結びつきからなる世界史像をめざす。くわえて、日本や日本人と世界とのつながりも意識する。具体的な目標は以下の通り。 ①世界史的知識を広げる。 ②歴史的内容を論理的に考察し、説明する力を養う。 ③異文化や多様な価値観への理解・関心を深める。 ④「現在」に対する複眼的な見方を養う。		<b>成績評価の方法：</b> 以下の総得点 5 0 0 点に占める得点率で最終評価を行なう。 前期：中間試験 1 0 0 点+期末試験 1 0 0 点+課題提出 5 0 点 後期：中間試験 1 0 0 点+期末試験 1 0 0 点+課題提出 5 0 点  <b>達成度評価の基準：</b> 以下の各要素についての達成度を成績評価の基準とする。 ①世界史についての正しい知識を習得したか。 ②歴史的内容を論理的に考察し、説明する力がついたか。 ③異文化や多様な価値観への理解・関心が深まったか。 ④「現在」に対する複眼的な見方がついたか。				
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> 授業は、教科書・図説（資料集）を使用した講義形式で行なう。質問票の提出を適時求め、授業にフィードバックする。「世界とは何か？」「歴史とは何か？」「世界・歴史をどのような視点から眺めるのか？」このような問いを自らに投げかけ、「過去」との対話を通じて、自分の視野を時間的・空間的に広げてほしい。受講者の興味・関心を喚起するような書籍や映像資料をできるだけ紹介したい。						
<b>教科書および参考書：</b> 『詳説世界史』（山川出版社）を教科書とし、『最新世界史図表タペストリー』（帝国書院）を副教材として使用する。その他、必要に応じてプリント等を配布する。						
<b>授業の概要と予定：前期</b>						
第 1 回：イントロダクション						
第 2 回：大航海時代						
第 3 回：ルネサンス						
第 4 回：宗教改革						
第 5 回：ヨーロッパ主権国家の形成						
第 6 回：危機の時代の主権国家						
第 7 回：イギリス革命						
第 8 回：世界貿易と植民地						
第 9 回：中間試験						
第 1 0 回：産業革命						
第 1 1 回：アメリカ独立革命						
第 1 2 回：フランス革命①						
第 1 3 回：フランス革命②						
第 1 4 回：ナポレオンの時代						
第 1 5 回：ブルジョワ支配の成立						
<b>期末試験</b>						
第 1 6 回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）						

授業の概要と予定：後期
第17回：19世紀後半のヨーロッパ
第18回：アメリカ合衆国の発展
第19回：「西洋の衝撃」と近代アジア①
第20回：「西洋の衝撃」と近代アジア②
第21回：帝国主義の時代
第22回：「世界分割」と列強の対立
第23回：アジア諸国の改革と民族運動
第24回：第一次世界大戦
第25回：中間試験
第26回：ロシア革命とヴェルサイユ体制
第27回：大戦後のヨーロッパとアメリカ
第28回：戦間期のアジア
第29回：世界恐慌とファシズムの台頭
第30回：第二次世界大戦①
第31回：第二次世界大戦②
期末試験
第32回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）